

令和2年度 損保決算概況について

1. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、火災保険や自動車保険の増収などにより、令和元年度に比べ1.0% (833億円) 増加して8兆6,927億円となりました。

(2) 正味支払保険金、損害率

正味支払保険金は、外出自粛に伴う事故件数の減少による自動車保険の支払の減少や、自然災害の減少に伴う火災保険の支払の減少などで、令和元年度に比べ△9.2% (△4,631億円) 減少の4兆5,637億円となりました。

損害率は、令和元年度に比べ△5.9ポイント低下して58.0%となりました。

《参考》

国内自然災害に係る正味発生保険金(注)

	正味発生保険金		
		正味支払保険金	未払保険金
令和2年度	2,948億円	2,065億円	883億円
令和元年度	4,430億円	3,922億円	508億円

(注) 各年度に発生した国内自然災害による全種目合計(家計地震保険を除く)の発生保険金額。

再保険により回収した再保険金および回収が見込まれる支払備金を控除している。

正味発生保険金＝正味支払保険金＋未払保険金

未払保険金とは、支払備金に繰り入れた金額(回収支払備金を控除)

(3) 事業費率、コンバインド・レシオ

事業費率は、諸手数料及び集金費の増加により、令和元年度に比べ0.1ポイント上昇して32.7%となりました。

損害率と事業費率を合計したコンバインド・レシオは、令和元年度に比べ5.8ポイント低下して90.7%となりました。

(4) 保険引受利益

以上の増減益要因に、その他の保険引受収益および保険引受費用を加減算した保険引受利益は、令和元年度に比べ△1.7% (△16億円) 減少の927億円となりました。

2. 資産運用の概況

資産運用収益は、有価証券売却益の減少などにより、令和元年度に比べ△11.0% (△806億円) 減少して6,547億円となりました。

資産運用費用は、有価証券評価損の減少などにより、令和元年度に比べ△51.2% (△810億円) 減少して773億円となりました。

資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用粗利益は、令和元年度に比べ0.1% (4億円) 増益の5,773億円となりました。

3. 経常利益・当期純利益

経常収益は令和元年度に比べ△0.7% (△719億円) 減少し、経常費用も令和元年度に比べ△

0.8%(△725億円)減少したため、経常利益は令和元年度に比べ0.1%(6億円)増益の5,971億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加減算した当期純利益は、令和元年度に比べ△4.4%(△201億円)減益の4,376億円となりました。

4. 総資産

総資産は、令和元年度末に比べ5.5%(1兆6,883億円)増加して32兆3,363億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、28社とも法律で求める水準を超えており、経営の健全性について問題ない水準となっています。